

定例記者会見

令和6年11月20日（水）13時30分

- 1 市政の動向
- 2 スマイルアクション50（素案）の概要
- 3 主な議案のポイント
- 4 令和6年度 第7回補正予算のポイント



(1) サークュラーエコノミーに関する車座対話

8月19日に首相官邸で「サーキュラーエコノミーに関する車座対話」が開催されました。

資源・製品の価値の最大化、消費資源の最小化、廃棄物の排出抑制、地球温暖化対策等の具体的な取組である「サーキュラーエコノミー」（循環経済）をテーマとして行われ、自治体代表として出席し、岸田総理（当時）と対話を行いました。

当日は、本市が進める「サーキュラーパーク九州構想」の取組などについて紹介した後、自治体の立場から資源循環を推進する上での課題について発信しました。



(2) 台風10号による災害対応

台風10号の接近に伴い、8月28日に災害対策本部を設置し、全市民に向けて避難指示を発令しました。特に暴風・波浪の特別警報が発令されたため、防災行政無線で早めの避難について呼びかけ、暴風が本格化する前の安全確保を促しました。

東郷地域では、倒木や電線の切断により一部集落が一時的に孤立し、22世帯が影響を受けました。現地確認を行い、住民の健康状態の確認や必要な物資の聞き取りを行い、29日には携帯用充電バッテリーを届け、翌日には食料や飲料水を提供しました。

30日には、関係機関の協力により市道の地元車両が通行可能となったことから孤立状況が解消されました。



(3) キッズ・ゾーンを設定

9月1日、幼稚園・保育所等が散歩など昼間の園外活動において、園児の安全を守り、ドライバーに安全運転を呼び掛ける対策として、「キッズ・ゾーン」を市内の2箇所（せんだい幼稚園付近、みくに幼稚園・みくにキッズ保育園付近）に設定し、路面標示を行いました。

小学校等の通学路に設けられているスクールゾーンに準じて設定する「キッズ・ゾーン」が国によって創設されたことから、市内で初めて設定しました。



▲せんだい幼稚園付近



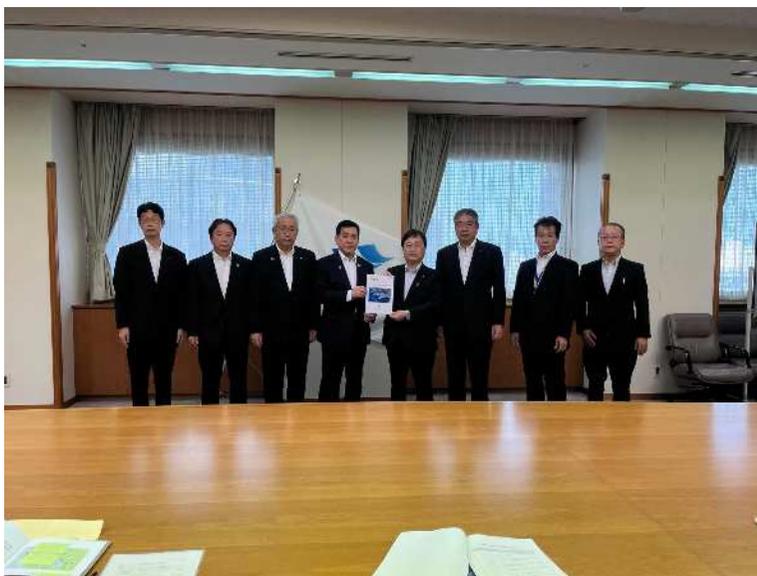
▲みくに幼稚園・みくにキッズ保育園付近

(4) 船舶の大型化への対応等を要望

9月4日、川内港整備促進期成会が、鹿児島県知事に対し、川内港における「コンテナ船の大型化への対応」、「ガントリークレーンの早期整備、及び荷役機能の強化」などについて、要望を行いました。

特に「令和7年度以降に想定される『コンテナ船の大型化』に伴い、川内港への『寄港がなくなる可能性』を危惧する港湾利用者の声があるため、今後、『抜港回避に向けた具体的な対応』、並びに唐浜埠頭の本格的な供用開始までの間における、荷役作業やエリア区分等の円滑な移行について港湾管理者としての対応を図られるようお願いしたい。」などの要望を行いました。

また、11月13日には、国土交通省に対し、川内港における「港湾関連予算の確保」、「唐浜地区国際物流ターミナル整備事業の早期完成」、「コンテナ船の大型化への対応」について、要望を行いました。



(5) 「川内川水系かわまちづくり計画」変更登録証手交式

9月6日、川内川河川事務所長から、令和6年8月8日付けで国土交通省の「川内川水系かわまちづくり計画」に新たに入来麓地区が追加登録されたことに伴う登録証が伝達されました。

入来麓地区においては、伝統的な街並みの空間と河川空間の回遊性を向上させることで、新たな地域間交流、地域活性化に資する利活用が期待されます。

<参考>

- 本市では、向田地区と川内市街部（大小路地区）、天辰地区に続く4箇所目の登録となります。
- 本計画に川内川本川以外の河川が登録されるのは初となり、県内において県管理河川が国のかわまちづくり支援制度に登録されるのも初となります。
- 国及び県管理河川が併せて盛り込まれた計画が登録されるのは、九州で初となります。



(6) ボートサミット・全国市町村交流レガッタ薩摩川内大会

9月7日、8日、第37回全国ボート場所在市町村協議会首長会議（ボートサミット）in薩摩川内・第33回全国市町村交流レガッタ薩摩川内大会を開催しました。本市では初めての開催となり、全国から集まった104クルーが川内川でレースを繰り広げました。



(7) 株式会社ECCOMMITとの循環型社会の推進に関する連携協定締結

9月12日、株式会社ECCOMMITと本市は、これまで一般廃棄物として処分されてきた再生可能品等のリユース・リサイクルに取り組むことにより、ごみの搬出量の削減、リサイクル率の向上及び温室効果ガスの排出量削減を実現し、持続可能な循環型社会の推進を図ることを目的に連携協定を締結しました。

各家庭で不要になった衣類を廃棄するのではなく、リユース・リサイクルへつなげるために、現在、PASSTO（パスト）を市内7カ所に設置しています。



(8) 薩摩川内音楽祭 コカフェス2024

9月28日、29日に、市誕生20周年記念市主催事業として、SSプラザさんだいで「薩摩川内音楽祭コカフェス2024」を開催しました。

アーティストによるライブ演奏のほか、出演アーティストと市内学生との合唱、川内商工高等学校軽音楽部のベーシストとのコラボレーションなど、次世代を担う本市の若者と一体となった企画も実施され、若者のあふれるエネルギーと豪華アーティストによる熱いパフォーマンスの融合で、最高に盛り上がる2日間となりました。



(9) 明治安田生命保険相互会社との包括連携協定締結

10月4日、明治安田生命保険相互会社と本市は、SDGsの理念のもと、社会課題の解決と持続可能な地域づくりに向けて、緊密な相互連携と協働による活動を推進し、市民の健康増進や市民サービスの向上を図るとともに、地域におけるSDGsの達成を目的に連携協定を締結しました。

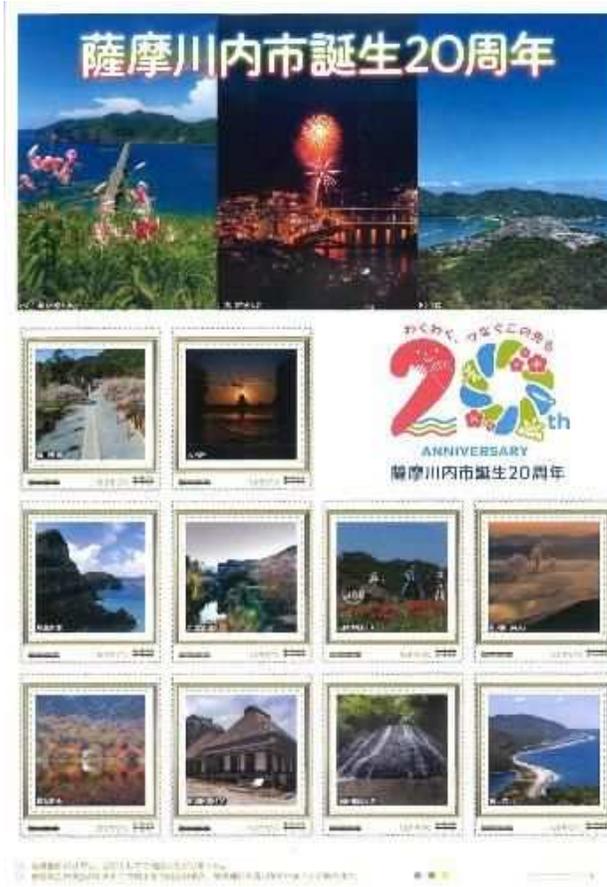


(10) 市誕生20周年記念フレーム切手贈呈式

10月4日、市誕生20周年記念フレーム切手贈呈式を行いました。

フレーム切手を作成した日本郵便株式会社九州支社から、切手データを提供した本市に対して贈呈されました。

本市以外に阿久根市、伊佐市、出水市、さつま町、長島町の計74局で限定販売されました。



(11) 薩摩川内市誕生20周年記念式典

10月12日、SSプラザせんだいで市誕生20周年記念式典を執り行いました。

一部の式典では、市政発展のために功績のあった方々を市政功労者として表彰しました。また、新型コロナウイルス感染症対策に係る協力団体、特別国民体育大会（燃ゆる感動かごしま国体）開催に係る協力団体に対して特別表彰感謝状の贈呈を行い、来賓からの祝辞などもありました。

二部のイベントは、薩摩川内火けし保存会 木遣り隊 纏隊による木遣り唄で始まり、お笑いライブ、お笑いライブの出演者と記念式典ボランティアによるトークセッションを行いました。



(12) 第1回薩摩川内市スポーツフェスタ

10月13日に第1回薩摩川内市スポーツフェスタを開催しました。

これまでの市民運動会をリニューアルし、子どもから高齢者まで、気軽にスポーツを楽しむきっかけづくりと運動能力・競技力向上につながるよう、自由参加でさまざまなスポーツを体験、競争できるイベントとして実施しました。

イベントは、約300名の保育園児による元気いっぱいのダンスとゲームで始まり、対抗戦「マッチ」では、グラウンド・ゴルフ1ホール対決や玉入れ競争、400メートルリレーなどを行い、体験会「チャレンジ」では、18のスポーツ体験プログラムを実施しました。

どの世代も気軽にスポーツを楽しめる、笑顔あふれるフェスタとなりました。



(13) 川内川水系隈之城川等の「特定都市河川」の指定

11月1日、川内川水系隈之城川等は、令和6年11月1日に鹿児島県内の一級河川で“初”となる「特定都市河川」に指定されました。

特定都市河川は、流域治水の本格的な実践にむけて、国土交通大臣が指定するものです。

1,000㎡以上の雨水浸透阻害行為に県知事の許可が必要となり、雨水をためられるようにするなどの対策が求められます。

今後、隈之城川流域では国・県・市等からなる流域水害対策協議会が組織され、浸水被害対策を流域一体で計画的に進めるための流域水害対策計画の策定が進められます。

隈之城川特定都市河川指定流域



(14) 鹿児島レブナイズ及び市バスケットボール協会とのスポーツを通じた地域活性化に関する連携協定締結

11月2日、鹿児島レブナイズ及び市バスケットボール協会と本市は、それぞれが持つ人材や資源、ノウハウを活用することにより、バスケットボール活動を通じて、地域の活性化を図ることを目的に連携協定を締結しました。



(15) 田中市長 2期目スタート

11月7日、田中市長の2期目の任期がスタートしました。市民広場での登庁式で市民の方々や職員に迎えられました。

その後、消防局、水道局、本庁で、広聴・広報、情報公開の基本姿勢で、「将来ビジョンの実現」と「市民サービスの充実」という基本的な考え方のもと、未来創生10ビジョンの実現に向けて訓示を述べました。



(16) 清色城跡国指定20周年記念イベント「薩摩川内サムライ・アカデミア～入来麓絵巻～」

11月9日に、市誕生20周年記念市主催事業として、入来文化ホールで清色城跡国指定20周年記念事業「薩摩川内サムライ・アカデミア～入来麓絵巻～」を開催しました。

清色城跡や入来麓武家屋敷群の歴史や文化をわかりやすく学び、楽しめるイベントとして、講演会や伝統芸能の演舞のほか、パネルディスカッションなどのステージイベントが行われました。



2 スマイルアクション50（素案）の概要



■ スマイルアクション50（素案）の概要 ※別冊あり

◇目的

人口減少・少子高齢化が進む中で、次世代のために『楽しく、笑顔がつながり、人が集うまちづくり（スマイルコミュニティ）』と『人と経済が循環するまちづくり（サーキュラー都市）』を目指す。

◇実施期間

令和7年度から10年度までの4年間

◇スマイルアクション50の構成

SDGsの3つの側面「社会」・「環境」・「経済」の各分野と、実行性を高めるための「実現」の4分野で、50の事業を実施

【各分野のキーワード】

① 社会スマイル事業【はぐぐむ】

- 少子化・子育て
- 安全・安心
- 地域デザイン
- ひとみらい・社会教育

② 環境スマイル事業【まもる】

- 自然環境保全
- サーキュラー都市環境
- 次世代エネルギー
- 国土強靱化

③ 経済スマイル事業【つくる・めぐる】

- サーキュラー都市経済
- 産業人材確保・移住定住
- シティセールス
- 川内港臨海ゾーン開発等の5つの現場

④ 実現スマイル事業【つなぐ】

- スマートデジタル
- 財政健全
- チーム薩摩川内

3 主な議案のポイント

議案 合計 27件

- | | | |
|---|---------------|-----|
| 1 | 一般議案 | 17件 |
| 2 | 令和6年度補正予算関係議案 | 10件 |

議案第114号

薩摩川内市債権管理条例の制定について

市税を除く市の債権管理に関する総括的な事項を規定し、債権の回収及び整理を総合的かつ計画的に推進するために必要なルールを定めるもので、債権管理台帳の作成や債権の免除、債権放棄などを全庁的に統一して合理的かつ効率的に行えるよう制定するものである。

<概要>

○ 手続の整理・統一化

各債権所管課が個別に進めてきた債権管理台帳の作成や強制執行、徴収停止などの債権管理の手続について、地方自治法、同施行令等に基づき全庁的に整理・統一できるよう規定する。

○ 債権放棄

市の債権の中で、市税等の強制徴収公債権以外のうち私債権については、時効に援用（時効の効果を確定させる意思表示）が必要なことから、破産や行方不明の場合などでも将来にわたり徴収できない債権を長期間、保有し、管理せざるを得ない状況にあり、これらの債権について放棄ができるよう規定する。

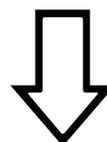
議案第120号

薩摩川内市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

消防団組織の再編に伴い、消防団の実態や地域の特性等を勘案し、消防団員の定数の見直しを行おうとするもの

<現状>

少子高齢化の進展や人口減少、被用者の増加及び若者の意識の変化などにより、消防団員の減少傾向が続いている



令和プロテクト・トーク「消防関係機関と市長との対話」や消防団幹部会議等で議論

<定数見直しの方針>

中長期的に持続可能な消防団組織の再編を図り、消防団の実情や地域の特性等を考慮した定数に見直し

消防団員の定数 1,308人 ⇒ 1,182人

議案第125号

薩摩川内市一般住宅条例の一部を改正する条例の制定について

民間住宅を借り上げ、一般住宅として設置する上甌一般住宅2棟2戸について、所要の規定の整備を図ろうとするもの

<借上型地域振興住宅の概要>

少子高齢化に伴う児童減少地域の定住促進および地域の活性化を図ることを目的とした「薩摩川内市借上型地域振興住宅制度」により、民間事業者が設計・建設した住宅を市が一定期間、市営住宅として借用して、市民に転貸するもの。

- 上甌一般住宅2棟2戸（甌島区域で初めて）

4 令和6年度 第7回補正予算のポイント



○一般会計

- ・ 補正額 19億5,544万9千円
- ・ 補正後の予算額

621億1,251万9千円

(前年度同期比 2.1%増)

(1) 結Lineこしき就航記念イベント支援事業【新規】

「結Lineこしき」の就航を記念して、甕島航路の利用促進や甕島観光の更なる機運醸成につなげるため、甕島商船(株)・本市・いちき串木野市で組織するイベント実行委員会が企画するイベントに対し、その経費を負担します。

＜結Lineこしき就航記念イベントの内容＞

- 1 結Lineこしき就航記念マルシェ（期日：就航日 場所：串木野新港）
- 2 結Lineこしき乗船優待券贈呈
- 3 スケッチ大会
- 4 特別船内放送録音
- 5 ペーパークラフトプレゼント

- イベント実施者：結Lineこしき就航記念イベント実行委員会
- 期間：令和7年3月から就航まで
- イベントの経費を本市といちき串木野市で折半し、負担

＜事業費＞ 100万円

事項名：甕島航路利用促進事業費（担当課：経済政策課）

(2) 結Lineこしき就航記念甌島航路利用促進支援事業【新規】

「結Lineこしき」の就航を記念して、甌島商船(株)が行う甌島航路の利用者に対する利用促進事業の宣伝広告などの経費を支援します。

<支援内容>

令和7年4月以降に実施する甌島商船(株)が行う甌島航路のフェリーまたは高速船の利用者に対する運賃割引に関する宣伝広告事業（イベントチラシ、記念乗船券発行経費）に関する経費を支援

- 宣伝広告事業の経費を本市といちき串木野市で折半し、負担

<運賃割引の内容（予定）>

- 1 結Lineこしきを利用した日帰り往復旅客運賃
 - 2 結Lineこしき・高速船甌島を利用した日帰り往復旅客運賃
- ※ 往復高速船甌島を利用した場合は対象外

- 取扱者：甌島商船(株)
- 期間：令和7年4月から2カ月間程度

<事業費> 26万円

事項名：甌島航路利用促進事業費（担当課：経済政策課）

(3) 甌島区域人工透析患者通院支援事業【新規】

下甌手打診療所において人工透析治療を受けている患者のうち、他と比較して通院の面で著しく不利な状況にある一部の者の負担軽減等を図るため、必要な支援を行います。

※ 上甌島における新診療所開設までの措置

<支援内容>

○ 対象者

甌島に居住し下甌手打診療所において人工透析治療を受けている患者のうち、他と比較して通院の面で著しく不利な状況にある者

○ 対象経費

通院するための交通手段のうち、こしき縦貫バスで対応できない時間帯に他の手段（福祉有償運送など）を利用した場合に支払った経費

○ 助成額

対象経費の額から片道150円を差し引いた額 ※上限：月額3万円

<事業費> 18万円

事項名：一般管理費（担当課：市民健康課）

※国民健康保険直営診療施設勘定特別会計

(4) 学校給食費物価高騰対策負担軽減事業【追加計上】

学校給食の米食の一部で提供している薩摩川内米に関して、令和6年産の米の価格高騰に伴い、薩摩川内米の価格が上昇したことから、その価格上昇分について、市の学校給食会への補助金を増額することにより、保護者の負担軽減を図ります。

<概要>

- 安全・安心な食材や地産地消を目的とした地場産物である薩摩川内米を提供
- 市の学校給食会と販売業者で年間契約しているが、令和6年産の米の価格高騰に伴い、薩摩川内米の価格が上昇
 - ※ 年間契約価格については、鹿児島県学校給食会の示す米の供給価格を基に市の学校給食会において、薩摩川内産米の供給価格を決定している。
- 価格上昇分について補助金を増額することにより、保護者の負担軽減を図るもの

<参考例> JA北さつま ヒノヒカリ（1等）仮渡金価格（円/玄米30kg）
令和6年産米 13,400円（令和5年産米 6,700円）

<事業費> 467万円

事項名：給食センター管理費（担当課：教育総務課）

(5) 災害復旧事業

梅雨前線豪雨及び台風10号により被災した施設、道路・河川などの復旧事業を実施します。

【追加計上】

- 農地・農業用施設の災害復旧工事
※農地56件、施設29件

<事業費> 1億500万円

事項名：現年公共農林水産施設災害復旧事業費
(担当課：耕地林務水産課)

【追加計上】

- 道路・河川の災害復旧工事
※市道11件、河川23件

<事業費> 1億5,000万円

事項名：現年公共土木災害復旧事業費、過年公共土木災害復旧事業費 (担当課：道路河川課)

【新規】

- 鹿島公民館空調設備の災害復旧工事
※空調設置、空調配管設備、電気設備など

<事業費> 1,630万円

事項名：現年公用・公共施設災害復旧事業費
(担当課：社会教育課)

【新規】

- 国指定重要文化財「旧増田家住宅」の災害復旧工事
※茅葺屋根部分など

<事業費> 1,522万4千円

事項名：現年公用・公共施設災害復旧事業費
(担当課：社会教育課)